



平成 29 年 8 月 10 日

各 位

上場会社名 大和重工株式会社  
 代表者 代表取締役社長 田中 保昭  
 (コード番号 5610、東証二部)  
 問合せ先責任者 取締役  
 総務部長兼経理部長 桑田 豊幸  
 (TEL 082-814-2101)

## 業績予想数値と実績数値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 2 月 14 日の決算発表時に公表いたしました、平成 29 年 12 月期第 2 四半期累計期間の業績予想との差異及び通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1.平成 29 年 12 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想の差異(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当り四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,100	百万円 △10	百万円 30	百万円 20	円 銭 1.48
今回実績 (B)	1,964	△18	33	20	1.54
増減額 (B-A)	△136	△8	3	0	
増減率 (%)	△6.5%	—	10.3%	4.1%	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 12 月期第 2 四半期)	1,918	△8	43	57	4.24

## 2.第 2 四半期累計期間業績予想との差異理由

第 2 四半期累計期間の業績については、産業機械関連機器部門において、工作機械鋳物部品の分野で、企業の設備投資意欲が若干回復し、業界全体の受注総額は前年対比増加となり、当社の受注額及び売上高も増加しました。

一方ディーゼルエンジン鋳物部品においては、熾烈な受注競争や中国・韓国との厳しい価格競争も続いており、採算面を重視していることから受注額は減少し、売上高も当初の計画を下回りました。また、住宅関連機器部門におきましても、一般家庭用の鋳物ホーロー浴槽の販売が、当初の売上計画を下回りました。

新築ホテルやリフォームするホテルからの鋳物ホーロー浴槽採用の引合案件は増加しておりますが、売上計上は、2017 年から 2020 年までとなる見込みであります。

その結果、売上高、営業利益は予想を下回りました。

## 3.平成 29 年 12 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当り当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,400	百万円 20	百万円 120	百万円 80	円 銭 5.90
今回修正予想 (B)	3,900	△100	10	5	0.37
増減額 (B-A)	△500	△120	△110	△75	
増減率 (%)	△11.4%	—	△91.7%	△93.8%	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 12 月期)	3,931	△6	98	95	7.03

## 4.通期業績予想の修正理由

通期業績予想につきましては、内外の諸情勢を考慮すると、工作機械鋳物部品の受注拡大は見込めるものの、当社が得意とする大型の工作機械鋳物部品の受注は、工作機械全体の伸び率に比べると小さいことから、全体的には厳しい経営環境が続くものと思われまます。また、ディーゼルエンジン鋳物部品の受注においては、中国・韓国及び国内の同業他社との価格競争はますます激しいものが予想され、年間計画を下回る状況となりました。加えて、鋳物ホーロー浴槽の販売も第 2 四半期までの実績が予想を下回ったことと、今後の新設住宅着工戸数も大きくは期待出来ない為、売上高を下方修正致します。また、売上高の大幅減少に伴い、利益面も大きく減少することから、通期の利益面も修正いたします。

引続き受注の拡大、人件費、諸経費等の削減などトータルコストの削減に努めるとともに、適正な製品単価の確保にも努めてまいりますが、急速な改善は期待難であり、売上高 3,900 百万円、営業利益△100 百万円、経常利益 10 百万円、当期純利益 5 百万円に修正いたします。

《業績予想に関する注意事項》

上記業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上